#### 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式
信託期間	2019年11月25日まで(2014年11月20日設定)
運用方針	米国株厳選投資戦略マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の株式等(預託証書(DR)を含みます。以下同じ。)に質的な投資を行い、主として値上がり益の獲得をめざします。一部、米国以外の株式等に実質的な投資を行う場合があります。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資については、原則として為替へッジを行いません。
主要運用対象	ベ ビ ー 米国株厳選投資戦略マザーファンド します。 マ ザ ー 米国の株式等 (預託証書 (DR) を含みます。) を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベ ビ ー 株式への実質投資割合に制限を ファンド 設けません。外貨建資産への実質 投資割合に制限を設けません。
	マ ザ ー 株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

- ※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
- ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」 の適用対象です。

詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書(全体版)

## 三菱UFJ 米国株厳選投資戦略オープン

愛称: USディスカバリー

第2期(決算日:2015年11月25日)



#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。 さて、お手持ちの「三菱UFJ 米国株厳選投資戦 略オープン(愛称: USディスカバリー)」は、去る11月 25日に第2期の決算を行いました。ここに謹んで運 用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い 申し上げます。

三菱UFJ投信株式会社は2015年7月1日に国際 投信投資顧問株式会社と合併し、「三菱UFJ国際 投信株式会社」となりました。



E菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目 12 番 1 号 URL:http://www.am.mufg.jp/

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034

(9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

# ◆目 次

三菱∪FJ 米国株厳選投資戦略オープンのご報告 □
◇設定以来の運用実績 · · · · · · · · · 1
◇当期中の基準価額と市況等の推移・・・・・・・・・・・2
◇運用経過 · · · · · · · · · 3
◇今後の運用方針 · · · · · · · · 6
◇ 1 万口当たりの費用明細 ・・・・・・・・・・ 7
◇売買及び取引の状況 ・・・・・・・・・・・ 8
◇株式売買比率 ・・・・・・・・・・・・・・・ 8
◇利害関係人との取引状況等 ・・・・・・・・・・ 8
◇組入資産の明細 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
◇投資信託財産の構成 ・・・・・・・・・・・・・・ 9
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況・・・・・・・・・ 10
◇損益の状況・・・・・・・・・・10
◇お知らせ・・・・・・・・・11
マザーファンドのご報告
マリーファフトのこ報音
◇米国株厳選投資戦略マザーファンド・・・・・・・・・・・・・ 12

#### 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- 一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

#### 〇設定以来の運用実績

決	算	期	基	準		価		額		(参考 ラッセル3000バリ	ューイ			株	式	株式	投資信託 券	市巴		産
1/	<del>71</del>	791	(分配落)	税分	込配	み金	期騰		中率	( 配当込み、 円換算ベース)	期騰	落	中率	組入	比率	先物比率	組入比率	総	:	額
(設)	定日)		円			円		(	%				%		%	%	%		百万	円
2014	4年11月	20日	10,000			_		-	_	10,000.00			_		_	_	_		6, 72	22
1期(	(2015年 5 月	[25日]	10, 569		]	150		7.	2	10, 632. 35		6	. 3		89.0		6.4		19, 29	<del>9</del> 6
2期(	(2015年11月	[25日]	9, 904			0		$\triangle 6.$	3	10, 317. 58		$\triangle 3$	. 0		83.3	_	9.2		10, 04	40

- (注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
- (注) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
- (注) ラッセル3000バリューインデックス(配当込み、円換算ベース)は、ラッセル3000バリューインデックス(配当込み)をもとに、委託会社が計算したものです。ラッセル3000バリューインデックス(配当込み)は、米国企業株時価総額上位3,000銘柄のうち、相対的に低PBR(株価純資産倍率)で割安性が高く、一方で利益の予想成長性が比較的低い銘柄で構成された指数です。ラッセル・インデックスに関連するトレードマーク、サービスマークおよび著作権等の知的財産権、指数値の算出・利用その他一切の権利は、ラッセル・インベストメントに帰属します。インデックスは資産運用管理の対象とはなりません。また、インデックス自体は直接的に投資の対象となるものではありません。
- (注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
- (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
- (注)「株式先物比率」は買建比率-売建比率。
- (注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

## 〇当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	П	基	準	価	額	(参考 ラッセル3000バリ	指数) ューインデ	ックス	株式	株 式 先 物 比 率	投資信託 券
7	Я	日			騰	落率	(配当込み、 円換算ベース)	騰落	率	組入比率	株 式 先 物 比 率	証 券組入比率
	(期 首)			円		%			%	%	%	%
201	5年5月25	日		10, 569		_	10, 632. 35		_	89. 0	_	6.4
	5月末			10,684		1.1	10, 788. 02		1.5	83. 5	_	6.0
	6月末			10, 276		△ 2.8	10, 414. 55	Δ	2.0	88. 0	_	6. 5
	7月末			10, 471		△ 0.9	10, 625. 38		0.1	90. 1	_	6.9
	8月末			9,700		△ 8.2	9, 777. 03		0.8	87. 5	_	7. 1
	9月末			9,009		△14.8	9, 182. 55		13.6	85. 6	_	9.7
	10月末			9,890		△ 6.4	10, 157. 70		4.5	85. 6	_	9.5
	(期 末)											
201	5年11月25	日		9,904		△ 6.3	10, 317. 58		3.0	83. 3	_	9. 2

<sup>(</sup>注)騰落率は期首比。

<sup>(</sup>注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

<sup>(</sup>注)「株式先物比率」は買建比率-売建比率。

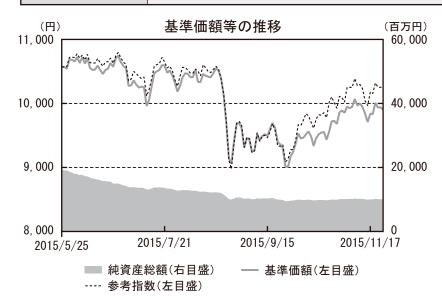
## 運用経過

#### 当期中の基準価額等の推移について

(第2期:2015/5/26~2015/11/25)

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ6.3%の下落となりました。



第2期首 : 10,569円 第2期末 : 9,904円 (既払分配金 0円) 騰落率 : -6.3%

基準価額の主な変動要因

下落要因

米国株式市況全体が下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

#### 投資環境について

(第2期:2015/5/26~2015/11/25)

#### ◎米国株式市況

・期首から2015年8月中旬にかけては、米国の早期利上げ観測の高まりや中国株式市況の変動の大きさを受けて、弱含みの展開となりました。その後8月下旬には、中国経済の減速懸念が強まり大幅に下落しました。期末にかけては、米国の利上げの先送りが意識されたことやECB(欧州中央銀行)理事会において量的緩和政策の延長が示唆されたことなどを受けて、上昇しました。

#### ◎為替市況

期首に比べ、米ドルは対円でほぼ横ばいとなりました。

#### 当該投資信託のポートフォリオについて

#### <三菱UFJ 米国株厳選投資戦略オープン>

・マザーファンドへの投資を通じて、長期的に企業価値の拡大が期待できると判断される米国 の株式等(REIT(不動産投資信託証券)を含む)を高位に組み入れる運用を行いました。

#### <米国株厳選投資戦略マザーファンド>

基準価額は期首に比べ5.3%の下落となりました。

- ・長期的に企業価値の拡大が期待できると判断される米国の株式等(REITを含む)への投資を継続しました。株式の組入比率については期を通じて高位を維持しました。
- ・組入銘柄数については、入れ替えなどを行い概ね21~25銘柄とし、期末は21銘柄としました。 経営陣の交代や事業の構造改革を通じてフリー・キャッシュ・フローを増やし、負債返済や 自社株買いの実施により投下資本の効率性を高めることが期待される銘柄への投資を行いま した。
- ・結果として、保有銘柄の株価下落などから5.3%の下落となりました。パフォーマンスに影響した銘柄は以下の通りです。

#### (下落要因)

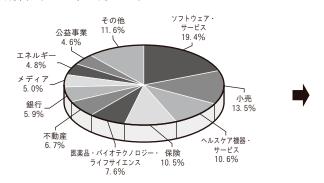
#### ◎銘柄

- ・NRG ENERGY INC (公益事業): 着実なキャッシュフロー創出力や代替エネルギー事業の拡大余地が過小評価されていると考え投資を行いました。エネルギー価格の下落により投資家心理が悪化し、下落しました。なお、期中に全株売却しました。
- ・CHEVRON CORP (エネルギー): エネルギー価格が下落する中、総合的なエネルギー事業を展開し業績の安定感が強いと判断し投資を行いました。エネルギー価格の低迷が続き業績の下振れリスクが懸念されたことなどから下落しました。なお、期中に全株売却しました。
- ・HMS HOLDINGS CORP (ヘルスケア機器・サービス):安定的な収益環境を評価し投資を行いました。大口顧客の契約などから先行きの業績悪化が懸念され下落しました。なお、期中に全株売却しました。

#### (ご参考)

#### 組入上位10業種

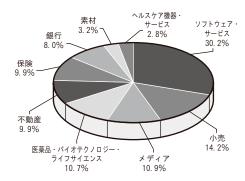
期首(2015年5月25日)



(注) 比率は現物株式評価額に対する割合です。

#### (注) REITは不動産に含めて表示しています。

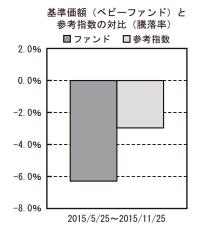
#### 期末(2015年11月25日)



- (注) 比率は現物株式評価額に対する割合です。
- (注) REITは不動産に含めて表示しています。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりま せん。右記のグラフは当ファンド(ベビーファンド)の基準 価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数は、ラッセル3000バリューインデックス(配当込み、 円換算ベース)です。



#### 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益(留保益)につきましては、信託 財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

#### 【分配原資の内訳】

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第2期
項目	2015年5月26日~2015年11月25日
当期分配金	-
(対基準価額比率)	-%
当期の収益	-
当期の収益以外	_
翌期繰越分配対象額	557

- (注)対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- (注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

#### <三菱UFJ 米国株厳選投資戦略オープン>

- ◎今後の運用方針
- ・運用の基本方針に基づき、マザーファンドへの投資を通じて、長期的に企業価値の拡大が期待できると判断される米国の株式等を高位に組み入れ、値上がり益の獲得をめざす運用を行います。

#### <米国株厳選投資戦略マザーファンド>

- ◎運用環境の見通し
- ・足下では、市場予想を上回る雇用統計が発表され、米国経済の成長を再確認することができました。この結果を受けて、次回のFOMC(米連邦公開市場委員会)における利上げ実施の可能性が高まり、米国債利回りは上昇しました。今後の米国株式市況は、このような良好なマクロ環境および金融政策を巡る不透明感の解消を背景に上昇に向かうとみています。

#### ◎今後の運用方針

- ・引き続き強固なバランスシートを保ち、優秀な経営陣の下で、事業構造の改革などを通じて 企業価値を拡大できる企業に対し、選別的に投資を行う方針です。
- ・足下では、安定した収益基盤を有し、業績が景気動向に左右され難いテクノロジー関連銘柄に注目し、投資機会を探っています。また、企業の買収・合併などを通じた業界再編の動きが見られる銀行セクターや原油価格の低迷により割安感が強まっているエネルギーセクターへの投資も探って行きます。

#### 〇1万口当たりの費用明細

(2015年5月26日~2015年11月25日)

項目	金 額	期比率	項 目 の 概 要
	型 領 円	火 学	
(a) 信 託 報	洲 103	1. 032	(a)信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社	(62)	(0. 624)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書 等の作成等の対価
( 販 売 会 社	( 38)	(0.380)	分配金・償還金・換金代金支払等の事務手続き、交付運用報告書等の送付、 購入後の説明・情報提供等の対価
(受託会社	( 3)	(0.027)	投資信託財産の保管・管理、運用指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数	와 7	0.072	(b) 売買委託手数料-期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等を売買する際に発生する費用
( 株 式	( 7)	(0.070)	
(投資信託証券	( 0)	(0.002)	
(c) 有 価 証 券 取 引		0.002	(c) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株 式	( 0)	(0.002)	
(投資信託証券	( 0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費	刊 1	0.014	(d) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用	( 1)	(0.012)	外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用	( 0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他	( 0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	111	1. 120	
期中の平均基準価額は	10,005円で	r.	

- (注) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注)消費税は報告日の税率を採用しています。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンド に対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに 小数第3位未満は四捨五入してあります。

#### 〇売買及び取引の状況

(2015年5月26日~2015年11月25日)

#### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

<i>t</i> 44	桩	設	定	-		解	約	
亚白	枘	数	金	額		数	金	額
		千口		千円		千口		千円
米国株厳選投資戦略マサ	<sup>゛</sup> ーファンド	132, 595		143, 800	8	, 130, 259	8,	693,800

## 〇株式売買比率

(2015年5月26日~2015年11月25日)

#### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項	Ħ	当期	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	Ħ	米国株厳選投資戦略マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額		12, 388, 4	25千円
(b) 期中の平均組入株式時価網	<b>総額</b>	10, 881, 4	56千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)		1.	13

<sup>(</sup>注) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

#### ○利害関係人との取引状況等

(2015年5月26日~2015年11月25日)

## 利害関係人との取引状況

#### <三菱UFJ 米国株厳選投資戦略オープン>

該当事項はございません。

#### <米国株厳選投資戦略マザーファンド>

		四山城市	7.什么有生				
区	分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	0 <u>0</u> 0
		百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	<del>]</del>	96	_	_	8, 411	1, 792	21. 3

#### 平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱 東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFG証券です。

## ○組入資産の明細

(2015年11月25日現在)

## 親投資信託残高

Adv.	扭	期首(	前期末)	当 期 末		
銘	柄	口	数	数	評	価 額
			千口	千口		千円
米国株厳選投資戦略マザ	ーファンド		17, 760, 514	9, 762, 851		10, 020, 590

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2015年11月25日現在)

百 日	当 期 末
項目	評 価 額 比 率
	千円 %
米国株厳選投資戦略マザーファンド	10, 020, 590
コール・ローン等、その他	184, 415
投資信託財産総額	10, 205, 005

- (注) 米国株厳選投資戦略マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産 (9,742,308千円) の投資信託財産総額 (10,119,342千円) に対する比率は96.3%です。
- (注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは 以下の通りです。

1 アメリカドル=122.43 円		

#### ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年11月25日現在) ○損益の状況

#### (2015年5月26日~2015年11月25日)

_		
	項    目	当期末
		円
(A)	資産	10, 205, 005, 059
	コール・ローン等	184, 414, 490
	米国株厳選投資戦略マザーファンド(評価額)	10, 020, 590, 272
	未収利息	297
(B)	負債	164, 428, 551
	未払解約金	38, 158, 311
	未払信託報酬	126, 064, 621
	その他未払費用	205, 619
(C)	純資産総額(A-B)	10, 040, 576, 508
	元本	10, 137, 729, 131
	次期繰越損益金	△ 97, 152, 623
(D)	受益権総口数	10, 137, 729, 131 □
	1万口当たり基準価額(C/D)	9, 904円
	のませく	

<注記事項	<b>[&gt;</b>
-------	--------------

①期首元本額 18, 258, 096, 825円 期中追加設定元本額 1,269,232,526円 期中一部解約元本額 9, 389, 600, 220円 また、1口当たり純資産額は、期末0.9904円です。

_		1
	項目	当 期
		円
(A)	配当等収益	58, 307
	受取利息	58, 307
(B)	有価証券売買損益	△534, 298, 245
	売買益	182, 049, 346
	売買損	$\triangle 716, 347, 591$
(C)	信託報酬等	△126, 281, 040
(D)	当期損益金(A+B+C)	△660, 520, 978
(E)	前期繰越損益金	509, 518, 237
(F)	追加信託差損益金	53, 850, 118
	(配当等相当額)	(54, 373, 267)
	(売買損益相当額)	$(\triangle 523, 149)$
(G)	計(D+E+F)	△ 97, 152, 623
(H)	収益分配金	0
	次期繰越損益金(G+H)	△ 97, 152, 623
	追加信託差損益金	53, 850, 118
	(配当等相当額)	(55, 485, 102)
	(売買損益相当額)	(△ 1,634,984)
	分配準備積立金	509, 518, 237
	繰越損益金	△660, 520, 978
(注)	(B) 有価証券売買損益は期末の評価換え	によるものを含みます

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて 表示しています。
- (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加 設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- ②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は97,152,623円です。
- ③分配金の計算過程

C) V HE FI / I / C I		
項	目	2015年5月26日~ 2015年11月25日
費用控除後の配当等収益額		-円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有	価証券売買等損益額	一円
収益調整金額		55, 485, 102円
分配準備積立金額		509, 518, 237円
当ファンドの分配対象収益額		565, 003, 339円
1万口当たり収益分配対象額		557円
1万口当たり分配金額		一円
収益分配金金額		-円

④「米国株厳選投資戦略マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託 財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の90以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (http://www.am.mufg.jp/) をご覧ください。

#### [お知らせ]

- ①2015年7月1日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三菱UFJ国際投信株式会社へ変更し、信託約款に所要の変更を行いました。 (2015年7月1日)
- ②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%(法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。))の税率が適用されます。

## 米国株厳選投資戦略マザーファンド

### 《第2期》決算日2015年11月25日

[計算期間:2015年5月26日~2015年11月25日]

「米国株厳選投資戦略マザーファンド」は、11月25日に第2期の決算を行いました。 以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第2期の運用状況をご報告申し上げます。

業国の株式等を主要投資対象とし、主として値上がり益の獲得をめざします。一部、米国以外の株式等に投資を行う場合があります。株式等への投資にあたっては、長期的に企業価値の拡大が期待できると判断される企業の株式に厳選して投資を行います。株式等の運用にあたっては、アールエス・インベストメント・マネジメント・シーオー・エルエルシーに運用指図に関する権限を委託します。株式等の組入比率は原則として高位を保ちます。組入外貨建資産については、原則として為替へッジを行いません。主要運用対象
業国の株式等(預託証書(DR)を含みます。)を主要投資対象とします。
主な組入制限株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

#### 〇設定以来の運用実績

	決	算	期	基	準	期騰	j 落	額中率	(参考 ラッセル3000バリ (配当込み、 円換算ベース)		カス中率	株組				式率	投証組え	資信人比	託券率	純総	資	産額
	(設定	日)			円			%			%		9	6	(	%			%		百万	5円
l	2014	年11月	20日		10,000			_	10, 000. 00		_		-	-		-			_		6,	709
Ī	1期(20	015年5.	月25日)		10, 841			8.4	10, 632. 35	(	5.3		89.	2		-		(	5. 4		19,	254
Ī	2期(20	015年11.	月25日)		10, 264		Δ	5. 3	10, 317. 58	$\triangle 3$	3.0		83.	5		- [		ç	9. 2		10,	020

- (注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
- (注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
- (注) ラッセル3000バリューインデックス(配当込み、円換算ベース)は、ラッセル3000バリューインデックス(配当込み)をもとに、委託会社が計算したものです。ラッセル3000バリューインデックス(配当込み)は、米国企業株時価総額上位3,000銘柄のうち、相対的に低PBR(株価純資産倍率)で割安性が高く、一方で利益の予想成長性が比較的低い銘柄で構成された指数です。ラッセル・インデックスに関連するトレードマーク、サービスマークおよび著作権等の知的財産権、指数値の算出・利用その他一切の権利は、ラッセル・インベストメントに帰属します。インデックスは資産運用管理の対象とはなりません。また、インデックス自体は直接的に投資の対象となるものではありません。
- (注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
- (注)「株式先物比率」は買建比率-売建比率。
- (注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

#### 〇当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基	準	価	額	(参考 ラッセル3000バリ	指数) ューインデック	'ス	株	式	株先		式率	投証組	資		託券
+	Л	Н			騰	落 率	(配当込み、 円換算ベース)	騰落	率	組入	比 率	先!	物比	率	組	入	比	分 率
	(期 首)			円		%			%		%			%			(	%
201	15年5月25日	目		10,841			10, 632. 35		_		89.2			_			6.	. 4
	5月末			10, 962		1.1	10, 788. 02	1	. 5		83.6			_			6.	. 0
	6月末			10, 562		△ 2.6	10, 414. 55	$\triangle$ 2	2.0		88.2			_			6.	. 5
	7月末			10, 782		△ 0.5	10, 625. 38	△ 0	). 1		90.3			_			6.	. 9
	8月末			10,004		△ 7.7	9, 777. 03	△ 8	3.0		87.6			_			7.	. 1
	9月末			9, 305		△14. 2	9, 182. 55	△13	3.6		85.7			_			9.	. 7
	10月末			10, 234		△ 5.6	10, 157. 70	$\triangle$ 4	1.5		85.7			_			9.	. 5
	(期 末)																	
201	15年11月25日	Ħ		10, 264		△ 5.3	10, 317. 58	△ 3	3.0		83.5			_			9.	. 2

- (注)騰落率は期首比。
- (注)「株式先物比率」は買建比率-売建比率。

#### 〇運用経過

- ●当期中の基準価額等の推移について
- ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ5.3%の下落となりました。

#### 基準価額の推移



- (注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。
- ●投資環境について
- ◎米国株式市況
- ・期首から2015年8月中旬にかけては、米国の早期利上げ観測の高まりや中国株式市況の変動の

大きさを受けて、弱含みの展開となりました。 その後8月下旬には、中国経済の減速懸念が強まり大幅に下落しました。期末にかけては、米 国の利上げの先送りが意識されたことやECB (欧州中央銀行)理事会において量的緩和政策の 延長が示唆されたことなどを受けて、上昇しま した。

#### ◎為替市況

- 期首に比べ米ドルは対円でほぼ横ばいとなりました。
- ●当該投資信託のポートフォリオについて
- ・長期的に企業価値の拡大が期待できると判断される米国の株式など(REIT (不動産投資信託証券)を含む)への投資を継続しました。株式の組入比率については期を通じて高位を維持しました。
- ・組入銘柄数については、入れ替えなどを行い概ね21~25銘柄とし、作成期末は21銘柄としました。経営陣の交代や事業の構造改革を通じてフリー・キャッシュ・フローを増やし、負債返済や自社株買いの実施により投下資本の効率性を

- 高めることが期待される銘柄への投資を行いま した。
- ・結果として、保有銘柄の株価下落などから 5.3%の下落となりました。 パフォーマンスに 影響した銘柄は以下の通りです。

#### (下落要因)

- ・NRG ENERGY INC (公益事業): 着実なキャッシュフロー創出力や代替エネルギー事業の拡大余地が過小評価されていると考え投資を行いました。エネルギー価格の下落により投資家心理が悪化し、下落しました。なお、期中に全株売却しました。
- ・CHEVRON CORP (エネルギー): エネルギー価格が下落する中、総合的なエネルギー事業を展開し業績の安定感が強いと判断し投資を行いました。エネルギー価格の低迷が続き業績の下振れリスクが懸念されたことなどから下落しました。なお、期中に全株売却しました。
- ・HMS HOLDINGS CORP (ヘルスケア機器・サービス):安定的な収益環境を評価し投資を行いました。大口顧客の契約などから先行きの業績悪化が懸念され下落しました。なお、期中に全株売却しました。

#### 〇今後の運用方針

#### ◎運用環境の見通し

・足下では、市場予想を上回る雇用統計が発表され、米国経済の成長を再確認することができました。この結果を受けて、次回のFOMC(米連邦公開市場委員会)における利上げ実施の可能性が高まり、米国債利回りは上昇しました。今後の米国株式市況は、このような良好なマクロ環境および金融政策を巡る不透明感の解消を背景に上昇に向かうとみています。

#### ◎今後の運用方針

- ・引き続き強固なバランスシートを保ち、優秀な 経営陣の下で、事業構造の改革などを通じて企 業価値を拡大できる企業に対し、選別的に投資 を行う方針です。
- ・足下では、安定した収益基盤を有し、業績が景気動向に左右され難いテクノロジー関連銘柄に注目し、投資機会を探っています。また、企業の買収・合併などを通じた業界再編の動きが見られる銀行セクターや原油価格の低迷により割安感が強まっているエネルギーセクターへの投資も探って行きます。

## ○1万口当たりの費用明細

(2015年5月26日~2015年11月25日)

775		当	期	
項	<u> </u>	金 額	比 率	項 目 の 概 要
		円	%	
(a) 売 買 委	託 手 数 料	7	0. 072	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等を売買する際に発生する費用
( 株	式 )	(7)	(0.070)	
(投資信	言託 証 券)	(0)	(0.002)	
(b) 有 価 証	券 取 引 税	0	0.002	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株	式 )	(0)	(0.002)	
(投資信	言託 証 券)	(0)	(0.000)	
(c) そ の	他 費 用	1	0.013	(c) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管	費 用 )	(1)	(0.012)	外国での資産の保管等に要する費用
( そ	の 他 )	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合	計	8	0. 087	
期中の平:	均基準価額は、1	.0,308円です	<del>-</del>	

- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに 小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 〇売買及び取引の状況

(2015年5月26日~2015年11月25日)

#### 株式

		買	付			売	付	
	株	数	金	額	株	数	金	額
外		百株	千アメ	リカドル		百株	千アメリ	カドル
国 アメリカ		4, 284		17,840		26, 296		83,818

<sup>(</sup>注) 金額は受渡代金。

## 投資信託証券

		<i>A4</i> 7	拓	買	付			売	付	
		銘	柄	数	金	額	П	数	金	額
/al	ア	゙メリカ		千口	千アメリ	カドル		千口	千アメリ	カドル
外		EQUITY COMMONWEALTH		24		637		62		1,639
玉		IRON MOUNTAIN INC		20		581		45		1,481
		小	計	45		1,218		107		3, 120

<sup>(</sup>注) 金額は受渡代金。

#### 〇株式売買比率

(2015年5月26日~2015年11月25日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項	目	当	期
(a) 期中の株式売買金額			12, 388, 425千円
(b) 期中の平均組入株式時価総	額		10,881,456千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)			1. 13

<sup>(</sup>注) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## 〇利害関係人との取引状況等

(2015年5月26日~2015年11月25日)

## 利害関係人との取引状況

区	分	買付額等 A	うち利害関係人	<u>B</u>	売付額等 C	うち利害関係人	<u>D</u>
			との取引状況B	A		との取引状況D	С
		百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引		96	_	l	8, 411	1, 792	21.3

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱 東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFG証券です。

#### ○組入資産の明細

(2015年11月25日現在)

## 外国株式

	期	首(前期末)	当	期	末	
銘 柄	4	朱 数	株 数	評		業 種 等
	1	木 奴	1休 数	外貨建金額	邦貨換算金額	
<b>(アメリカ)</b>		百株	百株	千アメリカドル	千円	
AGILENT TECHNOLOGIES INC		_	818	3, 330	407, 748	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエン
JPMORGAN CHASE & CO		729	395	2,638	323, 028	銀行
CHEVRON CORP		686	_	-	_	エネルギー
FIRST HORIZON NATIONAL CORP		2,739	_	-	_	銀行
TWENTY-FIRST CENTURY FOX-A		2, 207	1, 390	4, 149	507, 980	メディア
PFIZER INC		1,431	735	2, 350	287, 802	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエン
SEALED AIR CORP		978	542	2, 440	298, 783	素材
XL GROUP PLC		1,909	731	2, 791	341, 743	保険
CADENCE DESIGN SYS INC		2, 172	2, 168	4, 708	576, 515	ソフトウェア・サービス
FIDELITY NATIONAL INFO SERV		750	435	2,821	345, 475	ソフトウェア・サービス
MICROSOFT CORP		1, 190	767	4, 160	509, 428	ソフトウェア・サービス
MAGELLAN HEALTH INC		900	_	_	_	ヘルスケア機器・サービス
ALPHABET INC-CL A		116	82	6, 351	777, 645	ソフトウェア・サービス
ALLSCRIPTS HEALTHCARE SOLUTI		3, 215	1, 419	2, 112	258, 580	ヘルスケア機器・サービス
ZIONS BANCORPORATION		_	1, 152	3, 450	422, 412	銀行
FNF GROUP		2, 273	1, 325	4, 745	580, 935	保険
LIBERTY INTERACTIVE CORP Q-A		3, 262	1,600	4, 202	514, 562	小売
COMMVAULT SYSTEMS INC		1,791	1, 207	4, 896	599, 418	ソフトウェア・サービス
NRG ENERGY INC		2,661	_	_	_	公益事業
ALLERGAN PLC		219	78	2, 447	299, 689	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエン
HMS HOLDINGS CORP		3, 234	_	_	_	ヘルスケア機器・サービス
DOLLAR GENERAL CORP		650	497	3, 260	399, 160	小売
CHARTER COMMUNICATION-A		_	222	4, 131	505, 836	メディア
LIBERTY VENTURES - SER A		1,405	785	3, 343	409, 322	小売
CLEAN HARBORS INC		1, 205	_	_	_	商業・専門サービス
DANA HOLDING CORP		2,630	_	_	ı	自動車・自動車部品
合 計 株 数 · 金	額	38, 364	16, 353	68, 333	8, 366, 070	
会 計 銘 柄 数 < 比 率	₫ >	23	19	_	<83.5%>	

- (注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
- (注) 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

## 外国投資信託証券

					期首(前期末)		当 期 末					
銘		柄		П	数	П	数	評	五 額	比	率	
				日 数	口 数	奴	外貨建金額	邦貨換算金額	и.	<del>d.</del>		
(アメリカ)					十口		十口	千アメリカドル	千円		%	
EQUITY COMMONWE	CALTH				185		148	4, 104	502, 525		5.0	
IRON MOUNTAIN I	NC				144		119	3, 431	420, 173		4. 2	
合 計	口	数 · 金	額		330		267	7, 536	922, 698			
合 計	銘	柄 数 < 比	率 >		2		2	_	< 9.2% >			

- (注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
- (注) 比率および合計欄の〈 〉内は、純資産総額に対する評価額の比率。

#### ○投資信託財産の構成

(2015年11月25日現在)

	1E			当	ļ	期	末	
項		目	評	価	額	比		率
					千円			%
株式					8, 366, 070			82.7
投資証券					922, 698			9.1
コール・ロー	ン等、その他				830, 574			8.2
投資信託財産総	総額				10, 119, 342			100.0

- (注) 期末における外貨建純資産(9,742,308千円)の投資信託財産総額(10,119,342千円)に対する比率は96.3%です。
- (注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは 以下の通りです。

1アメリカドル=122.43円

#### ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年11月25日現在)

#### 〇損益の状況

(2015年5月26日~2015年11月25日)

	項目	当期末
		円
(A)	資産	10, 119, 342, 519
	コール・ローン等	560, 214, 710
	株式(評価額)	8, 366, 070, 408
	投資証券(評価額)	922, 698, 665
	未収入金	264, 285, 618
	未収配当金	6, 072, 670
	未収利息	448
(B)	負債	98, 408, 199
	未払金	98, 408, 199
(C)	純資産総額(A-B)	10, 020, 934, 320
	元本	9, 762, 851, 006
	次期繰越損益金	258, 083, 314
(D)	受益権総口数	9, 762, 851, 006 □
	1万口当たり基準価額(C/D)	10, 264円

#### <注記事項>

①期首元本額 17,760,514,377円 期中追加設定元本額 132,595,667円 期中一部解約元本額 8,130,259,038円

また、1口当たり純資産額は、期末1.0264円です。

	項目	当 期
		円
(A)	配当等収益	68, 556, 543
	受取配当金	68, 488, 923
	受取利息	67, 620
(B)	有価証券売買損益	△ 750, 114, 692
	売買益	821, 136, 967
	売買損	$\triangle 1,571,251,659$
(C)	保管費用等	△ 1, 588, 815
(D)	当期損益金(A+B+C)	△ 683, 146, 964
(E)	前期繰越損益金	1, 493, 566, 907
(F)	追加信託差損益金	11, 204, 333
(G)	解約差損益金	△ 563, 540, 962
(H)	計(D+E+F+G)	258, 083, 314
	次期繰越損益金(H)	258, 083, 314
(注:)	(R) 右価証券書買場券は期まの証価協う	にトフォのた会でませ

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加 設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。
- ②期末における元本の内訳 (当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額) 三菱UFI 米国株厳選投資戦略オープン 9.762,851,006円

#### [お知らせ]

2015年7月1日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三菱UF J国際投信株式会社へ変更し、信託約款に所要の変更を行いました。 (2015年7月1日)